

日本勞働組合規約

—(大正八年六月創立同九年十月改定)—

第一章 組織及目的

- 第一條 本組合ハ日本勞働組合ト名稱ス
- 第二條 本組合ハ我國勞働者ノ精神上及物質上ノ向上ヲ圖リ一方産業組織ヲ破壞スル矯激ノ言行ヲ防禦シ秩序的ニ國家ノ產率ヲ増大シテ我國經濟ノ基礎ヲ堅實ナラシメ以テ世界對應上優勝ノ地步ヲ占ムルヲ以テ目的トス
- 第三條 本組合ハ全國各種ノ勞働者男女ヲ通シテ組織スルト雖モ其内部ハ各職業別ニ分チ同職者ヲ以テ一團ト爲シ其各團體ヲ總轄シタルモノヲ以テ本組合ヲ組織スルモノトス
- 第四條 本組合ハ組合員ノ希望又ハ特別ナル事情ニヨリテ職別ノ組合ヲ組織スルコトヲ得、此場合ニ於テ本組合ハ各職別組合ノ聯合組合タルモノトス
- 第五條 本組合ニハ組合員ノ外組合ヲ指導スル爲メニ名譽顧問ヲ置キ又タ趣意ヲ賛成シ經營ヲ援助スル篤志家ヲ贊助員トシテ兩者トモ特別ニ優待ス

第二章 業 務

- 第六條 本組合ハ第二條ノ目的ヲ達成スヘク左ノ事業ヲ行フ
 - 一、勞働者ノ利益ヲ擁護シ増進スル爲メニ絶ヘス勞働問題ヲ研究審議シ其實行ニ力ム
 - 二、組合機關雜誌ノ發行及演說講話其他宣傳事業
 - 三、勞働紛議ノ仲裁調訂
 - 四、職業ノ講習、職業ノ紹介及人事相談
 - 五、勞働共濟事業
- 六、以上列記シタル業務ノ外時代ノ要求ニ應スル必要ナル業務

第三章 職 能

- 第七條 本組合ハ内部ノ職別團體ニリ一團若若干名(各團體ノ人員數其他ノ事情ニヨリテ定ム)ノ役員ヲ選定シテ本組合ノ理事ト爲シ組合ノ業務ヲ執行セシム
- 第八條 組合長ハ本組合ヲ代表シ業務ヲ總理ス
- 第九條 組合長ハ本組合員ノ内ヨリ選任ス若シ適任者ナキ時ハ組合員外ヨリ人格アル者ヲ選ヒテ囑托スルコトヲ得、此場合ニ於テ其選定ハ理事會全員ノ同意ヲ要スルモノトス
- 第十條 本組合ニハ左ノ事務機關ヲ設ク
 - 一、庶務部(社會部外交部包含)
 - 二、宣傳部
 - 三、編輯部及出版部
 - 四、會計
 - 五、理事會
- 第十一條 以上各部ノ細則ハ内規ヲ以テ別ニ定ム
- 第十二條 前條ニ掲ケタル各部ノ事務ハ理事會ノ評議ヲ以テ其擔任者ヲ定ム、但シ組合長ノ承認ヲ經ルモノトス
- 第十三條 本組合ハ政治ニ關係セス

第四章 内部團體

- 第十二條 内部團體ニ於ケル規約ハ其團體ノ必要ニ應シ自カラ之ヲ編成スルモノトス、但シ組合長ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス
- 第十三條 内部團體ニ於テ團體規約ノ適用ニ關シ爭議ノ起リタル時ハ本組合ノ理事會ニ訴ヘテ其裁決ヲ仰クモノトス